

2023_0919「紫色に染まった空（写真）」日々の理科 3330 号

お茶の水女子大学 サイエンス&エデュケーション研究所 田中 千尋

9月13日の未明に、北極圏の空は紫色一色に染まりました。この不思議で幻想的な空の色の正体は、一体何なのでしょう？写真を見ると、低い空に雲がかかっているものの、星は無数に写っていて、まちがいなく夜空だとわかります。画面左には、北極以遠では「周極星」となり、一年中沈まない「北斗七星」も写っています。

更によく見ると、画面の縦方向にカーテンの折り目のような幾筋もの明暗があるのがわかります。実はこの紫色の空の正体は、空全体を覆い尽くした「紫色のオーロラ」なのです。明るい緑色のオーロラの上端に紫の帯が見られることはよくあります。特に春や秋に多く観測されます。しかし、この写真のように、空全体が紫色に染まってしまうのは、大変珍しい現象です。

時刻は現地時刻で午前2時過ぎだったので、この世にも稀な自然現象を、肉眼で見た観測者は、恐らく一人もいなかったのではないのでしょうか？

(2023年9月中旬／スウェーデン北部・ヨックモック郡・ポルユス)

